

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先だけでなくサプライチェーンの深い層の取引先に働きかけることにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。

(個別項目)

○取引の EDI 化、ならびに EDI の運用改善によって、双方の受発注・代金決済手続き等の簡易化・効率化を進めます。

○サプライチェーン全体の可視化・共有によって、双方に利益がもたらされる Win-Win な関係構築を進めます。

○地方拠点を核として、各地域のパートナー企業への高品質な通信サービスの提案を積極的に実施し、地域経済の活性化に貢献します。

○中小受託事業者で策定される BCP（事業継続計画）における、社内通信の環境整備への支援に取り組みます。

2. 「振興基準」の遵守

発注方法の改善、対価の決定の方法の改善、代金の支払方法の改善、型等に係る取引条件の改善、知的財産の保護及び取引の適正化等を含む委託事業者と中小受託事業者との望ましい取引慣行（受託中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

中小受託取引以外の企業間取引についても、取引上の立場に優劣がある企業間での取引の適正化を図ります。

3. その他

当社は、社会インフラを担う KDDI グループの一員として、高い水準での社会的責任を果たしていく責務があると認識しています。

この責務を遂行・実現するために、「KDDI グループ持続可能な責任ある調達方針」に基づき、すべての取引先との連携を強化し、共存共栄を図る取り組みを継続的に行ってまいります。

2026 年 9 月 1 日

受託中小企業振興法に基づく「振興基準」の内容を理解した上で宣言します。

KDDI プリシード株式会社 代表取締役社長 山本 博之